

## 学会消息

### ◇日本社会学史学会

日本社会学史学会大会が1987年6月20日(土)、21日(日)に神戸大学で開かれた。本学からは小関藤一郎名誉会員が第一日目に「フランス産業社会学40年の回顧」と題する講演を行った。また高坂健次教授は第二日目の自由報告で司会にあたった。

### ◇日本新聞学会

1987年度総会および春季研究発表会は、5月23日(土)、24日(日)の両日、福岡大学において開催された。個人研究発表の他、シンポジウム「取材の自由と責任」などが行われた。本学からは津金沢聡広教授、加藤春恵子教授、芝田正夫助教授が出席し、加藤教授はワークショップ「コミュニケーション理論——日本におけるミード研究——」の司会を担当した。なお津金沢教授は総会において学会理事に選任された。

### ◇日本選挙学会

1987年度「日本選挙学会」は5月30日(土)、31日(日)の両日、駒沢大学で開催された。本学からは「セッションC」で、小林久高氏(大学院博士課程後期課程)が「県会議員選挙の計量分析——地元への得票の偏りをめぐって——」と題する研究報告を行った。また、「セッションD」では春日雅司氏(大学院研究員)が「地区組織と地区推薦」と題する研究報告を行った。

### ◇関西社会学会

第38回関西社会学会大会が1987年5月23日(土)と24日(日)の両日、愛知県立大学において開催された。本学からは萬成博教授がロバート・マーシュ教授との共同研究「工場組織の変化モデルの構築」を「産業」部会において、また真鍋一史教授が「消費者行動調査における質問紙作成のシステムティックな方法——Facet Designの利用と開発——」を「意識・文化」部会においてそれぞれ発表し、活発な討論が行われた。

なお、総会では萬成博教授が議長をつとめられた。

執筆者紹介 (掲載順)

倉田和四生	社会学部教授	ユズル, J. タケシタ	社会学部客員教授
山路勝彦	社会学部教授	山本剛郎	社会学部教授
真鍋一史	社会学部教授	小林久高	社会学部大学院 博士課程後期課程

社会学部研究会々員

会長	遠藤惣一			
評議員	杉山貞夫	牧正英	津金沢聡広	
	村川満	高田真治	対馬路人	
会計監査	半田一吉	船本弘毅		
書記	小倉克秋			
名誉会員	青山秀夫	藤原恵	本出祐之	
	小関藤一郎	蔵内数太	岡村重夫	
	嶋田津矢子	杉原方	清木盛光	
	栃原知雄			(ABC順)
普通会员	田中国夫	西尾朗	定平元四良	
	萬成博	領家穰	倉田和四生	
	武田建	佐々木薫	森川甫	
	中野秀一郎	張光夫	中山慶一郎	
	J.A. ジョイス	宮田満雄	春名純人	
	紺田千登史	西山美瑛子	安田三郎	
	真鍋一史	加藤春恵子	山路勝彦	
	山本剛郎	鳥越皓之	荒川義子	
	安藤文四郎	浅野仁	高坂健次	
	芝田正夫	芝野松次郎	立木茂雄	
	宮原浩二郎			

## 関西学院大学社会学部研究会会則

- 第 1 条 本会は関西学院大学社会学部研究会とよぶ。
- 第 2 条 本会は社会学および隣接諸科学の研究ならびに会員相互の交流を計ることを目的とする。
- 第 3 条 本会は上記の目的を達するために次の事業を行う。
- 1 機関誌「関西学院大学社会学部紀要」の発行。
  - 2 研究会および講演会の開催。
  - 3 研究叢書の刊行。
  - 4 その他本会の必要と認める事業。
- 第 4 条 本会の会員は次の3種とする。
- 1 名誉会員 本会の特に推薦するもの。
  - 2 普通会員 本会社会学部専任の教授、助教授、講師および助手。
  - 3 賛助会員 以上の外申込のあったもの。
- 第 5 条 普通会員は年額 19,200円、賛助会員は年額 10,000円以上の会費を納めなければならない。納付済の会費は返還しない。
- 第 6 条 本会員および本会社会学部大学院生・学部学生は機関誌の配布を受ける。学生の講読費は昭和56年度入学生より年額 1,600円とする。
- 第 7 条 本会に次の役員をおく。
- 1 会長（1名）は、社会学部長をもってあてる。
  - 2 評議員（6名）は、普通会員の中から互選し、本会の運営に当る。
  - 3 編集、会計、庶務の各委員は、評議員の中から互選する。
  - 4 会計監査（2名）は、普通会員の中から互選する。
  - 5 書記は、社会学部事務長に委嘱する。
- 第 8 条 本会役員任期は2年とする。重任を妨げない。
- 第 9 条 本会会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。予算・決算は総会の承認を得なければならない。
- 第 10 条 総会は年1回とし、本会の重要事項を議決する。臨時総会の開催を妨げない。
- 第 11 条 本会は事務所を本会社会学部におく。
- 第 12 条 本会会則の変更は総会の議決によらなければならない。

---

**<編集後記>**

---

云うまでもなく、故 大道安次郎名誉教授の学問上の足跡は、偏に関学社会学部の中にかぎられるものではなく、ひろくわが国の社会学の発展の中に印されるべきものであった。前号発行の前に同名誉教授の突然の訃報に接したのだが、本学部紀要として、また、本学部研究会として、同名誉教授の学問上の足跡を飾る方法はないものかと考えたのは私だけではあるまい。たまたま、倉田教授の論文が提出されたので、編集委員会としては、故 大道安次郎名誉教授の学問に対するわれわれの愛惜の念を表わすべく、特に本号巻頭に倉田教授の論文を掲載することとした。

前号記載の研究会メンバーに一部脱落が見出され、再印刷などで多くの方々に御迷惑をかけ、また、本号では印刷所のやむをえぬ事情で納入がおくれ、学生諸君への配布が10月になってしまうなど、不手際については重ねてお詫び申し上げます。

(杉山)

---

1987年7月15日 印刷

1987年7月20日 発行

編集発行人 遠 藤 惣 一

発行所 関西学院大学社会学部研究会  
〒662 西宮市上ヶ原一番町  
関西学院大学社会学部内  
電話(0798) (53)6111(代表)  
(内線) 4212

印刷所 尼崎印刷株式会社  
〒660 尼崎市北大物町16-55  
電話(06)481-0707(代)

**KWANSEI GAKUIN**

**SOCIOLOGY DEPARTMENT STUDIES**

(SHAKAIGAKUBU-KIYO, KWANSEI GAKUIN DAIGAKU)

---

No. 55

July 1987

---

---

The Study Association of Sociology Department

**KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY**

Nishinomiya, Japan

---